

2014.08.21

「東海道の次は中山道 碓氷峠を越えました」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。今日は8月21日の木曜日です。

本日は久々のビデオレターであります。国会は現在閉幕している訳であります。私はこの間に東海道五十三次を歩き終えたということをお知らせしましたが、その後、今度は中山道を一度歩いてみようということになり日本橋からずっと歩いておりました。先日は中山道の一番の難所と言われております碓氷峠を越えました。

東海道が一番の難所は箱根の山であります。箱根の山も旧街道ですから、山の中道を行くので大変厳しい急峻な道で大変だったのですけれども、それと比べましても、碓氷峠はその何倍も大変な所がありました。私自身、箱根の山を越えたので、それよりも大変ではあっても何とかなるだろうと舐めてかかってしまいまして、フラフラになってしまいました。箱根と碓氷峠の違いは、箱根は旧街道の横を新しい道が走っております。ですから、もし旧道が厳しければすぐに国道の方に出てくればよいという安心感があり、また歩いて

おられる方もまだ結構いらっしゃる訳であります。

ところが中山道は誰も歩いておりません。特に碓氷峠の間は誰一人会いませんでした。それどころかこの道が本当に合っているかさえもわかりません。何故わからないのかと言いますと、私は歩く時には **ipad** を持って歩いておりまして、通信回線を通じてインターネットで中山道の地図を **GPS** で確認しながら歩いて来ました。ところが碓氷峠に入りますと、肝心の電波が入りませんので **GPS** が使えません。その結果、自分が居る場所すらわからず、また道案内もあまりありませんから、この道で合っているのだろうかと思いつつも進む以外にありません。特にここの問題点は 18 号線という今の国道と私の歩いて来た旧中山道の山の中の道とは随分距離がありまして、尾根をいくつも越えた一番高い所に旧街道は繋がっておりますので、かなり不安になる訳であります。誰にも会わず、また国道に行くのにも、谷を越え、山を越えて行く訳にはいきませんから、一度入ったらまっすぐ進むしか無いのですが、そのまっすぐ進む道も途中で大きな木が何本も倒れていたり、また、川に雨が降って澤になったような道になっていたりして、非常に歩きにくくなっておりまして。更に、大きな猿の親子が何匹も群れをなして目の前にやって

来てびっくりしました。幸い熊には遭いませんでしたが、そうしたことも含めまして大変な難所でありました。

そこで私が思いましたのは、中山道は五街道の一つでありそして東海道と同じ様に京都と江戸を結ぶ道でもありまして、参勤交代にも使われている道ですけれども、こんな状況で大名がここを本当に通れたのだろうかということです。それ程大変廃れた状態になっておりました。

そして今回は軽井沢を越えて佐久平まで歩いて参りました。まだ和田峠という大きな難所も残っておりますけれども、何とか国会の合間を縫って京都まで行きたいと思っております。

そして歩くことによって様々な事が見えてきました。昔の人が歩いて来た道のりを歩いて行くと昔の事が偲ばれてきます。そしてそれぞれの街道筋で昔の面影を残していることもあります。しかし一方で、何の姿形も無くなっている所もあります。特に碓氷峠はその典型で、かつて茶屋がいくつもあったらしいのですが現在は全くありません。ですから、本当に荒んだ風景になってしまっております。そしてそういった所が東海道を歩いて来ても沢山ありました。そして中山道でもそういった所があると思います。

そうなりますと、我々が次世代に残していきたい日本とは一体何なの
のでしょうか。今まで何百年、何千年と先人が大事にしてきたもの
がどんどん無くなって廃れ、都市部だけに人が住み、かつてのそれ
ぞれの地域には人がいなくなります。勿論、時代が変わりましたか
ら山の中ではなく都会に住んで便利な生活をしていただくことも良
いことなのです。しかしそれも程度の問題であります。どんどん都
市部に人口が集中してしまいますと、それぞれの自分達の故郷には
人がいなくなってしまいます。また都市部に集まってきた人は生活
が大変で子供を産んだり育てたり、あるいは親子で一緒にそこに住
んだりすることが出来る空間が無いのです。つまり仕事をするため
に来ているだけで、そこでは次の世代を作って育てる事が出来ない
空間になってしまっております。これはかなりおかしい事でありま
す。故郷が寂れて都市部が栄えて居るようだけれども、都市部その
ものが故郷を寂れさせる元になっているわけであります。そういっ
たことが歩くことによって段々見えてきました。

いつ頃に京都までたどり着けるか分かりませんが、これか
らも時間の合間を見つけて歩いて、水戸黄門の全国漫遊記ではあり
ませんが、そのような気分でそれぞれの地域を見て歩いて、

日本の様々な問題を確かめていきたいと思っております。

また、ビデオレターもこれからもう少し頻繁に更新出来るように頑張りたいと思います。

本日も御覧頂きありがとうございました。